

教員養成専門部会

【プロジェクト名】教育ボランティア活動

1 プロジェクトの目的・概要

佐賀大学教育学部と佐賀県教育委員会は、教員養成などを柱とした連携・協力協定の一環として、平成17年度から「教育ボランティア活動」を開始し、今年度は14年目を迎えた。受け入れ経験校からは継続して希望提出があり、学生のみならず児童生徒、教職員にとっても貴重な機会となっている。平成29年度からは、この取り組みが派遣校から大変好評を得ていることをふまえ、各学校への派遣人数をこれまでの「5名まで」から「7名まで」に変更した。今現在、派遣希望プランの提出を求めているところであり、多くの学校より希望プランが出されるものと予想される。

当事業の主な目的は、以下の2点である。

教員志望の学生が、県内の市町立小・中学校、県立中学校、県立特別支援学校において、授業の補助や放課後の学習相談、学校行事の補助、部活動の支援、休み時間の遊びの相手など、様々な教育活動の支援をする。

教育現場におけるボランティア活動を通して、子どもとのコミュニケーションの取り方等についての基本的事項を身に付けることで、教員志望の学生の教職への資質や意欲を高める。

2 29年度の実施実績

(1) 実施経過

平成29年度は、学生の前期試験が8月4日まで実施されたことから、活動の開始を8月5日からとした。また、県内全域の学校へ派遣できるよう、学生への希望調査の際に、希望エリアを複数箇所選択させるようにした。

4月下旬から教育委員会において、各学校の派遣希望プランについて調査を行った。6月に調査結果を学生へ紹介し、活動希望等について把握・調整を行い、8月から派遣を開始した。

なお、平成28年度と同様、8・9月の1回のみ募集とし、10月以降の活動については、学校と学生で直接交渉を行い、継続することができることとした。

時 期	概 要
H29. 5. 8	県教育委員会から市町教育委員会への文書発送
H29. 5.15 頃	学校から所管の教育委員会への希望書の提出
H29. 5.18	市町教育委員会から県教育委員会への提出
H29. 5.26	県教育委員会から大学への希望一覧表の提出
H29. 6. 5	大学及び県教育委員会による事前説明会（1回目）
H29. 6. 9	〃 （2回目）
-	大学における派遣についての調整
H29. 6.26	大学から県教育委員会への派遣決定一覧表の提出
H29. 7. 7	県教育委員会から市町教委へ派遣決定文書発送
H29. 7. 7	県教育委員会から教育事務所への派遣一覧の提供
H29. 8. 5	派遣開始

(2) 平成29年度の派遣実績(学校数、プラン数、派遣人数)

8月と9月の2か月間において、派遣数68校、77プラン、延べ246人の学生を県内の小・中学校、特別支援学校に派遣した。派遣人数は、平成28年度と比べると増加し、参加した学生は意欲的に取り組み、教育現場の支援を行った。

校種	H27			H28			H29		
	学校数	プラン数	派遣人数	学校数	プラン数	派遣人数	学校数	プラン数	派遣人数
小学校	31	34	114	40	44	142	44	49	164
中学校	21	22	73	25	26	80	22	24	76
特別支援学校	4	4	9	3	4	11	2	4	6
計	56	60	196	68	74	233	68	77	246

(3) 事業の効果と課題

教育活動に直接携わり、子ども達への様々な支援活動を通して得られた感動や先輩教員との関わりの中で育まれた教職への魅力を、学生が肌で感じ取ることができ、更なる教職への意欲を高めることができた。

他学部の教員免許取得希望学生も対象とすることや、大学の講義の一環としての取組に位置づけることを平成28年度から継続して取り組んだ結果、派遣人数を確保できた状況を維持できている。

派遣学生と受け入れる学校側との間で認識のずれがあった。具体例として、学生は「派遣希望があった期間内で1日でも参加すれば良い。」と考えているのに対して、学校側は「希望した期間のすべてに出席してもらえる。」と解釈している例があった。

また、「教育ボランティア」を「教育実習」と同じような受け入れ方をする学校があり、学生への負担が大きかった事例もあった。

平成29年度は19市町から希望があり、18市町の学校へ派遣できた。

3 30年度の実施計画

本年度の実施要領を改訂し、派遣日数を最大5日間とすることとした。また、教育実習とは異なる活動であることも実施要領の中に盛り込んだ。

8月と9月の2か月間について教育ボランティアを募集し、10月以降の活動については、学校と学生で直接交渉を行い、継続することができることとする。

学生の前期試験が8月6日まで実施されることから、活動の開始を8月7日からとする。

時 期	概 要
H30.4.27 市町教委が指定する日	県教育委員会から市町教育委員会への文書発送 学校から所管の教育委員会への希望書の提出
H30.5.15	市町教育委員会から県教育委員会への提出(SEI-NET)
H30.5.24	県教育委員会から大学への希望一覧表の提出
H30.6.4	大学及び県教育委員会による事前説明会(1回目)
H30.6.8	〃 (2回目)
-	大学における派遣についての調整
H30.6.26	大学から県教育委員会への派遣決定一覧表の提出
H30.7.6	県教委から市町教委へ派遣決定についての文書発送
H30.7.6	県教育委員会から教育事務所への派遣一覧の提供
H30.8.7~	派遣開始

平成 29 年度「教育ボランティア活動」のアンケート結果

- 1 実施時期 平成 29 年 8 月 5 日～平成 29 年 9 月 30 日
(10 月以降は、学校と学生で派遣継続について個別に協議)

2 平成 29 年度の実施状況

	小学校		中学校		特別支援学校		合 計	
	派遣実績	派遣希望	派遣実績	派遣希望	派遣実績	派遣希望	派遣実績	派遣希望
学校数	44	49	22	26	2	4	68	79
派遣件数	49	55	24	27	4	6	77	88
派遣人数	164	229	76	127	6	19	246	375

3 活動内容例

長期休業中の学習指導の補助 授業中の学習指導の補助
運動会・体育大会の補助 特別な支援を必要とする児童生徒への学習指導の補助 等

4 教育ボランティア活動アンケート結果(抜粋)

【派遣学生】

- ・私は絵が得意なので子供たちの似顔絵を描いてあげたら、子供たちが寄って来てくれた。人見知りする子どもともコミュニケーションをとることができてとても嬉しかったです。
- ・一日最後の会議で、先生方は思っている以上に子供の行動を観察していることが知りました。特に、子供同士の間関係に留意されていて、その細やかさには感心しました。
- ・どうしたら子供が嫌な気持ちではなくやる気を出して学習に取り組めるか先生方が懸命に考えて行動されている姿を見て、これは教師になれたときに自分に大きく関わってくる問題だと思いました。

【派遣校の先生】

- ・学生たちの積極的に参加しようとする意識が強く感心した。
- ・最近、配慮を要する児童数が増加傾向にある。担任一人では手が回らないことも多いので、教育ボランティアの皆さんに手伝ってもらい、助かった。
- ・3年生は実力テストに向けての学習、1、2年生は夏休みの課題に取り組む生徒の学習支援に熱心にしてくれた。特に、生徒がわからない所については、自分で調べてきて翌日に詳しく、わかりやすく教えるなど努力をしていた。
- ・派遣場所まで学生の全員が電車通勤だったので時間も費用もかかりすぎる。なるべく自宅や現住所の近くの学校になるように配慮してほしい。

【児童生徒】

- ・運動会のれんしゅうで、先生が楽しそうに踊っていたので、私も楽しかった。(小1)
- ・間違っている問題を教えて下さったので助かりました。教え方も分かりやすかったです。また、教えてもらいたいです。ありがとうございました。(小5)
- ・先生といろいろな話をしながら、給食を食べ、楽しかったです。給食の準備や後片付けもしてくれてありがとうございました。おかげで早く済ませることができました。(小6)
- ・丁寧に熱心に教えてもらって良かった。わからない所を聞きやすかったし、わかるまで教えてもらった。大学生だったので、声を掛けやすかった。(中学生)